

# うれしの市議会だより

Ureshino city council

2018 Vol.51

平成30年10月26日発行 発行 嬉野市議会 / 編集 議会広報編集特別委員会 〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887



平成29年度決算徹底審議!  
**特集** 公の施設使用料…新たに改定  
ときの人…民謡全国大会で入賞

決算審議・意見書を添えて認定 …… P2-3

議会からチェック…決算指摘事項 …… P4-5

公の施設使用料改定に激論 …… P8-9

15名全員が論戦…一般質問 …… P12-21

ときの人 話題の市民シリーズ …… P24

頑張れ!小学校 応援合戦

# 会計決算を認定



▲建設中の嬉野市総合体育館（仮称）

## 主な財政指標

区分	平成29年度	平成28年度
財政力指数	0.389	0.389
実質収支比率	5.6	6.9
経常収支比率	91.3	79.6
実質公債比率	8.3	7.7
将来負担比率	69.3	70.7

9月18日に決算認定10件と条例の一部改正22件を除く17件を可決しました。9月25日に決算特別委員会を設置し、平成29年度一般会計、特別会計、水道事業会計など10件の決算認

平成29年度一般会計決算の状況は、歳入総額17億607万円（前年度対比3・4%）、5億7,883万円増。自主財源比率44・7%（前年度対比2・6ポイント増）、6億9,4

9月3日に召集され10月2日までの30日間の日程で開催されました。本定例会の提出議案は報告6件と専決処分承認1件、条例の一部改正25件、平成30年度一般会計補正予算1件、平成30年度水道事業会計補正予算1件、平成29年度決算認定10件、諮問2件、合わせて46件の議案が提案されました。

平成29年度一般会計決算の状況は、歳入総額17億607万円（前年度対比3・4%）、5億7,883万円増。自主財源比率44・7%（前年度対比2・6ポイント増）、6億9,4

## ふるさと応援 寄附金が大幅増

# 26億6,696万円

平成30年第3回定例会は、9月3日に召集され10月2日までの30日間の日程で開催されました。

本定例会の提出議案は報告6件と専決処分の承認1件、条例の一部改正25件、平成30年度一般会計補正予算1件、平成30年度水道事業会計補正予算1件、平成29年度決算認定10件、諮問2件、合わせて46件の議案が提案されました。

平成30年第3回定例会は、9月3日に召集され10月2日までの30日間の日程で開催されました。

平成30年第3回定例会は、9月3日に召集され10月2日までの30日間の日程で開催されました。

## 自主財源、依存財源とは

**自主財源**とは、自治体が自らの権限で収入しうる財源で、中心となるのは地方税（市税）である。その他、条例や規則で徴収できる使用料や手数料、繰入金などであるが、近年は、ふるさと応援寄附金も貴重な財源となっており、その比率が高いほど健全な財政状況といえる。

**依存財源**とは、他に依存する歳入のことで、主に地方交付税などの国庫支出金や県支出金などの補助金であるが、事業を行うときの市債（借金）も依存財源である。

平成29年度一般会計決算の状況は、歳入総額17億607万円（前年度対比3・4%）、5億7,883万円増。自主財源比率44・7%（前年度対比2・6ポイント増）、6億9,4

平成29年度一般会計決算の状況は、歳入総額17億607万円（前年度対比3・4%）、5億7,883万円増。自主財源比率44・7%（前年度対比2・6ポイント増）、6億9,4

平成29年度一般会計決算の状況は、歳入総額17億607万円（前年度対比3・4%）、5億7,883万円増。自主財源比率44・7%（前年度対比2・6ポイント増）、6億9,4

平成29年度一般会計決算の状況は、歳入総額17億607万円（前年度対比3・4%）、5億7,883万円増。自主財源比率44・7%（前年度対比2・6ポイント増）、6億9,4

# 平成29年度

## 一般 特別 水道事業

決算状況

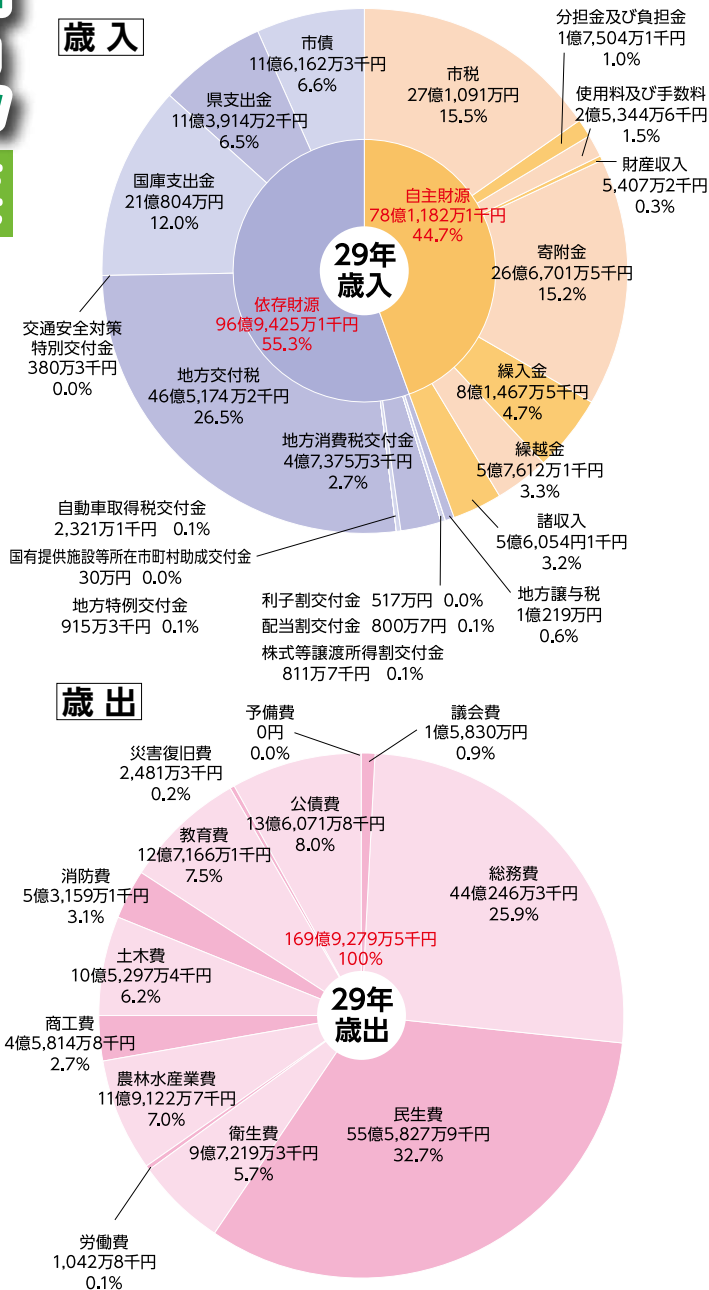
### 各決算の状況

会計名	総収入	総支出	差引額	
一般会計	175億607万円	169億9279万円	5億1327万円	
特別会計	国民健康保険	43億8369万円	43億1513万円	6855万円
	後期高齢者	3億3952万円	3億3893万円	59万円
	農業集落排水	3億6444万円	3億5533万円	911万円
	公共下水道	4億1918万円	4億615万円	1303万円
	浄化槽	1億645万円	1億76万円	569万円
	第七土地区画	1億5752万円	1億4449万円	1302万円
	第八土地区画	8423万円	8318万円	105万円
	嬉野温泉駅周辺	2億9441万円	2億9021万円	419万円
水道事業会計	収益的収支(税抜き)	水道料金他	経費支出	残高
		5億9681万円	5億5733万円	3948万円
	資本的収支	補助金他	工事費返還金等	保留金等で補填した金額
	1億3495万円	3億3489万円	1億9994万円	

### 借金はこれだけ

借入金の項目	平成29年度末金額	
総務関係の借入金	1394万6千円	
農林水産関係の借入金	7753万2千円	
商工関係の借入金	18万5千円	
土木建設・公営住宅の借入金	5億7890万6千円	
消防関係の借入金	1億690万2千円	
教育関係の借入金	6億9663万5千円	
災害復旧債	2182万8千円	
その他	102億9858万8千円	
その他の内訳	①臨時財政対策債	50億8739万9千円
	②合併特例債	45億8018万5千円
	③ほか	6億3100万4千円
合計	117億9452万2千円	

### 一般会計の状況



### 貯金はこれだけ

基金の項目	平成29年度末金額
財政調整基金	18億3004万2千円
減債基金	11億1979万8千円
地域づくり推進事業基金	4億1549万7千円
ふるさと応援寄附金基金	15万2千円
地域福祉基金	4億6405万1千円
ふるさと・水と土保全基金	2041万3千円
公共施設建設基金	2億3851万1千円
学校建設基金	59万円
奨学基金積立金	5919万4千円
人づくり振興基金	5000万円
下水道事業基金	1億3790万6千円
合併振興基金	13億8498万7千円
土地開発基金	1億93万3千円
その他	2930万円
合計	58億5137万4千円

# Check

## 各課へ改善を指摘

平成29年度決算特別委員会は、9月25日に議長と議会選出の監査委員を除く14名の議員で設置し、委員会内に3つの分科会を設け各担当課より決算書および決算資料に基づき詳細な説明を受け、事情聴取を行いながら審査しました。

その結果、それぞれの担当課へ指摘事項を付して、全ての決算において認定しました。

### 指摘事項の主なもの

#### 総務課

① 消防設備事業では、消防積載車や小型動力ポンプの更新を緊急防災・減災事業債を活用して整備されている。消防団による消火活動の

強化を目指すためにもさらなる施設の充実を望む。

② 防犯等整備事業が毎年実施され、LED化が進んできているが、地域によっては未整備な所が多い。更なる事業の展開を望む。

#### 財政課

① 嬉野市総合体育館（仮称）建設工事に伴い、職員駐車場仮設工事が予算の流用でされている。事前の説明は受けたが、金額も大きいので補正予算で対応すべきである。

#### 税務収納課

① 税の収納には日々努力され徴収率も向上してきているが、以前として滞納繰越分が残っており、全体の収納率を下げている。難しい問題ではあるが、更なる努力を期待する。

#### 企画政策課

① 医療センター跡地利活用基礎調査業務は、調査が終わり報告書を作成されているが、医療センター側との土地建物等価値交換の契約が正式になされていない。市民からも幅広い意見を聴きながら今後に向けて慎重に取り組んでいくべきである。

② 企業誘致には鋭意努力をされているが、その成果が見られない。企業誘致専属の職員を置くなどして更なる努力を求める。

#### 市民協働推進課

① 結婚支援推進事業は、人口増に向けた取り組みではあるが、機微に触れるところもあり男女の出会いの場の演出が大切である。民間の各種団体やサークル等との交流を利用して、民間のノウハウを活用するのも考である。

② UDおもてなし体制整備の中で、ほじょ犬ウ

エルカム事業が実施されているが、盲導犬との宿泊を受け入れてくれるホテルがあるのかどうか把握されていない。受け入れ体制の整備を進めていくべきである。

#### うれしの温泉観光課

① 国際観光・産業戦略事業は、平成30年度にこの事業がなくなり、継続的な事業展開ができなくなっている。事業採択には慎重な配慮が必要である。

#### 健康づくり課

② 大会等誘致対策事業は、事業の見直しで修学旅行のみに補助金を交付しているが、修学旅行者が減ってきている。その要因を探索し対策を考えていくべきである。

#### ① 南部地区小児時間外診療事業は、武雄地区休日急患センターで小児の初期診療（19時から21時）を行うものだ

が、小児の場合、夜中近くに症状が出ることもあり診療時間を延長する方向で検討する必要がある。

#### 福祉課

① 福祉バス運営事業では現在、吉田地区のみで運行されているが、嬉野市全体の交通弱者をなくす方法を早急に構築すべきである。

② 家族介護支援対策事業は、要介護3以上の者を在宅で6ヶ月以上介護している方へ月5,000円支給されているが、国の意向は在宅医療・在宅介護へとシフトしているため、在宅介護への拡充をすべきである。

#### 文化・スポーツ振興課

① 放課後子ども教室推進事業は塩田地区と嬉

# 議会からチェック

野地区で内容に差がある。嬉野地区でも充実した取り組みを望む。

## 教育委員会

① 奨学金貸付金で21人、575万8,210円が未納になっているが、市民の税金であるので、不公平感がないよう徴収努力を望む。また、貸し付け方法も検討する必要がある。

② 現在の気象状況を考えると、避難所にもなっている体育館に冷暖房設備が必要であると考える。設置を急ぐべきである。

## 子育て支援課

① 放課後児童健全育成事業においては、利用者の負担が低価であるため、近隣市町を参考に負担金の見直しをすべきである。納付方法についても、利用者の利便性を図るためにコンビニ納付を検討されたい。また、質の向上、支援

員間の情報共有を図るためにも、塩田・嬉野地区それぞれの専門のコーディネーターを配置すべきと考える。この事業は社会福祉協議会に委託されているが、内容についてのチェック・指導を積極的に行うべきである。

## うれしの茶振興課

① うれしの茶交流館については、運営費が賄われるような健全な運営を行い、ソフト面・ハード面の内容の充実とともに、他の庁内各課との連携も踏まえ、集客に向けた仕掛けができるよう努められたい。

② うれしの茶海外販路開拓戦略策定事業については、輸出対応防除体系の更なる強化と、圃場拡大による輸出茶の推進を、より多くの生産者に理解していただき、国際的な茶市場のステージに立てる生産量の確保に向けた更なる

改革が必要だと考える。

## 建設・新幹線課

① 嬉野温泉駅周辺整備関連事業については、賑わいのある駅前づくりを進めるにあたり、最大限の効果が得られるよう、計画的かつ創造性を合わせた事業として取り組んでいく必要がある。

② 社会資本整備総合交付金事業（橋りょう補修整備）については、防災や安全の観点から、引き続き橋りょうの点検及び工事において、国策としている国土の強靱化及び住民の命と暮らしの安全・安心を確保すべく、必要な財源の確保と分配を要望するよう強く努められたい。

## 環境下水道課

① 大野原産業廃棄物処理場跡地については、平成29年度で水質・ガス検査が終了するが、立地が水源の上流部に位置していることから、今後とも水質・ガス等においては十二分に注視していくべきである。

## 農林課

① 課内において業務の遅延が生じ、少なからずとも市民の生活に支障をきたした事例があった。課内における丁寧な業務連携に努められたい。また人員不足による影響が否めないという点も視野に入れて検討していくべきと考える。

② 市内排水機場についてはオペレーターの確保が喫緊の課題である。今後女性オペレーターの登用や民間委託も視野に入れながらの管理体制も検討していくことが必要である。

## 農業委員会

① 農地保有合理化事業については、昨年度と比較して成果が見られる。今後とも農業生産

力の向上と農業経営の合理化を目指し、農地のあつせんによる担い手農家の経営規模の拡大及び農地の集約化を図る事を目的とし、農業委員会及び、農地利用最適化推進委員会、また農地中間管理機構の更なる連携による事業の推進に期待する。

## 水道課

① 水道事業は企業経営上、有収率の向上を図ることが有効であり、数多く抱えている老朽管の漏水調査及び検査の徹底、老朽管布設替工事等の更なる推進が大きな打開策と考える。また、通常業務が多忙なため、技術習得研修に参加できない事案も発生しており、マンパワー不足が否めない現状である。今後とも継続した安心・安全な水の供給をするために、人員の確保も含めた健全運営に努められたい。

一般会計総額 **165億9,182万円**に

# 平成30年第3回定例会 2億687万円を

正算  
補予

## 肥前さが幕末維新博覧会 でしっかりPRを

肥前さが幕末維新博覧会事業として35万4千円を予算化しました。

県内の全市町が期間中の一日を「市町の日」として、幕末維新記念館西側の、こころぎしの森で、嬉野市の知名度向上の目的とPRを兼ねたイベントが、11月25日(日)に行われます。来場者や佐賀県に対し、観光地としての高いポテンシャルを持つ嬉野市の圧倒的なパフォーマンスを期待しています。

**問** 事業の内容は。

**答** 温泉湯とうふのふるまい、足湯体験、特産品の試食、試飲、販売である。またステージイベントにおいては嬉野に関連する音楽や踊りなどの3〜4団体の出演が予定されている。



(C) Hideki Mizuta

▲「市町の日」でにぎわうイベント会場

## 高齢者の介護予防や 生きがいづくりへ

高齢者生きがい活動促進事業として100万円を予算化しました。

事業の内容としては、地域共生の居場所づくりを行う市内NPOへ委託する事業です。初年度の準備経費として予算の範囲内において委託されます。

高齢者が地域社会の中で役割をもっていきいきと生活し、介護予防や生きがいづくり、また住民の支え合いによる仕組みづくりに寄与することが目的です。

**問** 委託料の詳細は。

**答** 居場所の改修工事、備品購入、改修に付帯する電気設備工事等。  
**問** 設置場所はどこか。  
**答** 嬉野市東吉田地区。



▲居場所づくりに期待

今年7月に見舞われた西日本豪雨災害等において、復旧を目的とし、1億4,423万円を予算化しました。

わが市においては、人命に影響はなかったものの、約200箇所被害が報告されており、現在も日々対応にあたっています。

今回の災害を教訓とし、災害に強いまちづくりに向けた自助・共助・公助の役割を理解し、連携して積極的に取り組むことが必要だと考えます。

## 西日本豪雨災害復旧費として 1億4,423万円



▲市内全域で約200箇所の被害

# 条例

嬉野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

嬉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

※発議とは、議員が議案を提出して審議を求めること

# 意見書

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書

学校に求められている役割は拡大しており専門的な知識を持った教員を含む計画的な教職員定数改善が必要である。今年度は文科省の概算要求で、教職員定数の拡充を目指す方針が打ち出されている。学校現場の現状を踏まえた教職員定数の改善が不可欠であり、全国どこでも一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。

記  
1・子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。

2・教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

下水道施設改築への国費支援の継続に関する意見書

財政制度等審議会において、下水道事業は、受益者負担という観点で、国土交通省からの「アクションプランに基づく下水道普及対策事業」、「下水道事業計画に基づく雨水対策事業」等への重点化の方針が出された。今後人口減少が本格化する中、著しく高額な下水道使

用料を徴収しづらくなることも考えられる。結果、施設の更新や、下水処理の利用停止等、市民生活に重大な影響が及ぶ恐れがある。よって市民生活の維持及び下水道の公共的役割は国の責務であるという観点から国費支援の継続を求める。

# 請願

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書の採択に関する請願書

嬉野市 筒井 宏  
紹介議員 宮崎良平

# 陳情

塩田川井堰の維持管理・修繕工事等に係る地元負担の軽減について

嬉野市 式浪自治会  
会長 中野哲太郎  
外 6名

工事発注における市内下請け業者選定を求める陳情書

嬉野市 嬉野市商工会  
会長 小原健史  
外 5名

下水道施設の改築への国費支援の継続に関する陳情書

佐賀市下水道協会  
会長 佐賀市長  
秀島敏行

臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書

移植ツーリズムを考える会  
九州事務局  
寺崎 太

嬉野町の場地区里道の側溝整備について

嬉野市 下岩屋三区  
区長 永尾良次  
外 1名

# 激論になる?

## 公の施設の使用料の改定

来年10月の消費税増税を期に、長年据え置きだった公の施設の使用料金を近隣市町の料金を参考に、室内面積等で換算し料金の平準化が行われます。来春完成の嬉野市中央体育館を含め指定管理している施設も対象となります。

消費税は基本外税となつていますが、内税の施設もあります。施設によっては市外の方の利用が多く、市内の方の予約が取れない状況もあり、市外の方の使用料金を高く設定しています。

今回値上げになつている施設もありますが、人口減少による税収減も見据え、施設維持管理費の利用者負担の観点からの改定であります。

## 公の施設使用料 Q&A

**問** 今回の料金改定の基本方針は定めているのか。

**答** 基本方針は、原則すべての施設料金を見直すこと。

**2** 市外利用者の割増額(割増率)を増とする。

**3** 来年(2019年)10月に予定されている消費税率の改定に対応するため、基本的

**4** 市内同一、同種施設の使用料は基本的に同額とする。

以上4項目定めている。今後定期的に使用料を見直していくためには、市民の声を聞きながら細かい基本方針を定めていく。

**問** 施設によっては、市外利用者の使用料を3割増から10割増にした理由は。

**答** 近隣市町の施設に合

わせた。

**問** 新設される嬉野市中央体育館の使用料設定基準は。

**答** 同規模の嬉野市社会文化会館及び諸富町体育館を参考にした。

**問** 嬉野市営公衆浴場の観光施設を内税とした理由は。

**答** 自動販売機の料金設定改修費用が多額になることや、嬉野市営公衆浴場を含め、市外の方の利用が多い施設においては、料金支払いの簡素化により観光客等の利便性を図るために内税にした。

**問** 志田焼の里博物館のロフ口体験料等の料金設定の理由は。

**答** 入館料も含め人気のあるロフ口体験等もわかりやすく内税にした。

## 反対討論

山口 虎太郎 議員

議案第90号

市長は政治理念として「対話と納得」を掲げ、スポーツ振興策を推進される中、公の施設の一部条例改正を出された。今決算には黒字決算を報告されるなか、使用料の一部値上げと市民以外への使用に対し現行3割増しから改正10割増しへの案は利用者は喜ばない。市民には特例措置があると言われるが値上げは施設利用が減る大きな要因でもある。

現在市外利用者の使用がスポーツ施設には多く、10割増しで高くなり嬉野へ来る魅力が

なくなる事で、利用者が減ることは避けられないので、市の負担は多くなると思われる。よつて反対する。

91号 94号 95号  
96号 99号 101号  
104号 108号 109号  
(同一理由にて反対)



# 特集 使用料が変更

## 梶原 睦也 議員

### 議案第99号

嬉野市総合体育館（仮称）は未だ建設途中でであり、今後40年50年と長期にわたり利用する市にとって重要な体育施設である。

新体育館の使用条件等については、目先の予約を優先するあまり十分な協議が行われたのか、はなはだ疑問である。さらには唐突とも

思える中央体育館の名

称についてもなぜ、嬉野市総合体育館（仮称）が嬉野市中央体育館という名称になったのか。執行部の権限といえ

ばそれまでであるが、あまりにも早急なる提案であり、議案について十分に精査されたとは判断できない。

よって議案第99号には反対の意を表明する。

## 梶原 睦也 議員

### 議案第107号

嬉野市営公衆浴場は平成25年3月より嬉野温泉観光協会を指定管理者として委託している。

市直営当時は赤字経営も心配されたが、嬉野温泉観光協会の指定管理となつてからは事業者の経営努力もあり、概ね良好な経営状況である。平成28年度からは指定管理委託料も減

少している。

そのような中、今使用料を上げる必要性があるのか疑問である。

また、値上げによる影響はどう判断されたのか、ただ市内他施設の斉値上げの一つとして自身の精査もなく改正が行われているとしか思えない。

よって議案第107号については反対とする。

## 私はこう判断

### 賛 否 表

○は賛成 ●は反対  
議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名	番号	結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
					山口卓也	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎一徳	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	梶原睦也	
議案第90号	嬉野市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号	嬉野市地域コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第92号	嬉野市営駐車場条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号	嬉野市立学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号	嬉野市公民館条例の一部を改正する条例について	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号	嬉野市社会文化会館条例の一部を改正する条例について	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	嬉野市文化センター条例の一部を改正する条例について	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	嬉野市歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	嬉野市旧美野分教場条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第99号	嬉野市体育施設条例の一部を改正する条例について	可決	12:3	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第100号	嬉野市立学校運動場照明施設条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	嬉野市老人福祉センター条例の一部を改正する条例について	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	嬉野市研修センター条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	嬉野市茶業研修施設条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号	嬉野市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例について	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号	嬉野市志田焼の里博物館条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	嬉野市営キャンプ場条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	嬉野市営公衆浴場条例の一部を改正する条例について	可決	13:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第108号	嬉野市都市公園条例の一部を改正する条例について	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号	嬉野市公園条例の一部を改正する条例について	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号	嬉野市道路占用料条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第111号	嬉野市法定外公共物の管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 決算に対しての

# 反対討論

平成29年度9月議会は、46件の議案が提出され、全ての議案において可決しました。  
 その中で、平成29年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定において反対討論が行われました。

**山口 虎太郎**  
議員

平成29年度嬉野市一般会計歳入歳出決算において、嬉野温泉駅周辺整備関連事業委託料の中の一部の事業説明に納得できない。  
 よって反対する。

**山口 卓也**  
議員

平成29年度嬉野市一般会計歳入歳出決算において、地域おこし協力隊のサポート態勢及び予算執行において疑問が残る。  
 よって反対する。

**私はこう判断** 賛 否 表 ○は賛成 ●は反対  
議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名	番号		議員														
		結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
議案第73号	専決処分(第8号)の承認を求めることについて(平成30年度嬉野市一般会計補正予算 第2号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	嬉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	嬉野市企業等誘致条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	平成30年度嬉野市一般会計補正予算(第3号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	平成30年度嬉野市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	平成29年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定について	可決	10:4	●	○	○	●	●	○	○	●	監査	○	○	○	○	○	
議案第81号	平成29年度嬉野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	可決	14:0	○	○	○	○	○	○	○	○	監査	○	○	○	○	○	
議案第83号	平成29年度嬉野市農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	可決	14:0	○	○	○	○	○	○	○	○	監査	○	○	○	○	○	
議案第84号	平成29年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について	可決	14:0	○	○	○	○	○	○	○	○	監査	○	○	○	○	○	
議案第85号	平成29年度嬉野市浄化槽特別会計歳入歳出決算認定について	可決	14:0	○	○	○	○	○	○	○	○	監査	○	○	○	○	○	
議案第89号	平成29年度嬉野市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決	14:0	○	○	○	○	○	○	○	○	監査	○	○	○	○	○	
発議第5号	嬉野市監査委員条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第6号	下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第7号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係わる意見書について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

# 15議員が質問

山口 政人 議員 (P12)

森田 明彦 議員 (P12)

山口 卓也 議員 (P13)

芦塚 典子 議員 (P14)

川内 聖二 議員 (P14)

諸井 義人 議員 (P15)

山口 忠孝 議員 (P16)

諸上 栄大 議員 (P16)

辻 浩一 議員 (P17)

山下 芳郎 議員 (P18)

梶原 睦也 議員 (P18)

山口 虎太郎 議員 (P19)

宮崎 一徳 議員 (P20)

増田 朝子 議員 (P20)

宮崎 良平 議員 (P21)

P12  
~ P21

一  
般  
質  
問

市  
政  
で  
激  
論

一問一答90分

9月議会

## 平成30年 第3回嬉野市議会定例会 会期日程

会期30日間 9月3日~10月2日

日次	月	日	開議時刻	区分	日程
第1日	9月3日	(月)	午前10時	本会議	開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案一括上程、提案理由説明、委員長報告
			本会議終了後	委員会	議案の詳細説明(決算を除く)
第2日	9月4日	(火)	午前10時	委員会	常任委員会
第3日	9月5日	(水)		休会	
第4日	9月6日	(木)		休会	
第5日	9月7日	(金)	午前9時30分	本会議	一般質問(5人)
第6日	9月8日	(土)		休会	
第7日	9月9日	(日)		休会	
第8日	9月10日	(月)	午前9時30分	本会議	一般質問(5人)
第9日	9月11日	(火)	午前9時30分	本会議	一般質問(5人)
第10日	9月12日	(水)		休会	
第11日	9月13日	(木)	午前10時	本会議	議案質疑
第12日	9月14日	(金)		休会	
第13日	9月15日	(土)		休会	
第14日	9月16日	(日)		休会	
第15日	9月17日	(月)		休会	祝日
第16日	9月18日	(火)	午前10時	本会議	討論・採決(決算認定議案以外)
第17日	9月19日	(水)		休会	
第18日	9月20日	(木)	午前10時	本会議	議案質疑(決算)
第19日	9月21日	(金)		休会	
第20日	9月22日	(土)		休会	
第21日	9月23日	(日)		休会	
第22日	9月24日	(月)		休会	祝日
第23日	9月25日	(火)	午前10時	委員会	決算特別委員会(全体会/分科会)
第24日	9月26日	(水)	午前10時	委員会	決算特別委員会(分科会)
第25日	9月27日	(木)	午前10時	委員会	決算特別委員会(分科会)
第26日	9月28日	(金)	午前10時	委員会	決算特別委員会(取りまとめ/分科会/全体会)
第27日	9月29日	(土)		休会	
第28日	9月30日	(日)		休会	
第29日	10月1日	(月)	午前10時	委員会	決算特別委員会(取りまとめ)
第30日	10月2日	(火)	午前10時	本会議	委員長報告、討論・採決、閉会



# 災

## 害避難所である 体育館に冷暖房設備を

山口政人 議員

### 答 前向きに考えている

**山口** 7月6日の豪雨災害で、避難所の設備、避難指示は適切であったか。

人の命に関わることなので、設置をしていただきたい。

**市長** 国も補助を検討しているとの情報もある前向きに考えている。避難指示については、適切であったと思っている。

**山口** 設備については冷暖房がなかったり、バリアフリーのトイレが少なく、不便であったという声があり、今後の対策を検討していく。

**山口** 災害用トイレを用意する必要があるのでは

はないか。

**教育長** 文科省が財務省に要望しているので、情報を得ながら検討していきたい。

**山口** 避難所の開設は一斉にやるべきではないか。

**総務課長** 指定避難所は早く開設し、責任者として職員を置くという運営方法でやっていきたい。

**山口** 避難所での女性への対策は。  
**総務課長** マニュアルが整備できていないので早く整備し適切な対応をしていきたい。

**山口** 嬉野にあるダムの放流は適切であったか。  
**市長** 今回の放流は降水量が多い時の放流で、びっくりされた方もおられ、今後、管理者である県とも検証、協議が必要だと考えている。

**山口** ダム放流の放送

サイレンが聞こえなかったと聞いているが、防災無線との連結はできないか。

**市長** 私も、そういったことが必要でないかと考えている。

**市単独補助金の見直しについて**

**山口** 補助金の原資は市民一人ひとりの税金であり、今後も効果、検証をしていただきたいが、補助金の見直しは計画しているか。

**市長** 補助金は毎年度事業の効果、検証を行って、目的が達成された事業、効果が小さい事業は縮小、廃止し、新たな需要には新規の補助金で対応している。

**山口** ダム放流の放送

# 市 役所窓口対応のあり方は

森田明彦 議員

### 答 市民サービスの向上は不断の努力として行うべきと考える



っている。

**森田** 各種相談や手続きも含め、対応はマニュアル化されているのか。

**市民課長** 引継ぎ書で各自行っているのですが、一般的なマニュアルの見直しを現在行っている。

**森田** 嬉野庁舎2階へ用事があり、足が不自由なため、上れずに困られた事例を聞く、こういったときの対応は。

**市長** 窓口で用件を伺い、職員が降りてきてお話を伺っているが、今後「市民課へお声かけ下さい」の案内を出すことも検討する。

**リサイクル制度について**

**森田** 中国の、資源ごみ輸入禁止による本市での現状認識と今後、市民生活への影響はないか。

**市長** ごみの再資源化政策の報道は認識しているが、本市ではリサイクル法に基づき、日本容器包装リサイクル協会へ委託して再資源化を行っており、輸出制限による市民生活への影響はない。



▲エアコンの設置が望まれる避難所

# 駅 周辺整備の構想は

山口卓也 議員

## 答 西九州観光ルートへのハブ（拠点）を目指す



ことができると考えている。

**山口** 駅周辺整備の時期に財政調整基金が枯渇した福井市の事例があるが、駅周辺整備に係る予算確保の見込みはあるか。

**財政課長** 2012年度から2023年度までで約30億円の事業費を見込んでおり、残り9億3,500万円程の事業が残っている。国庫補助や交付税措置の高い起債を活用したり、合併時より約40億円積み増した基金を有効に活用していく。

**山口** 市民の方を鉄道高架の上や駅の中に招待するなど、市民意識の向上のための取組みをどうするか。

**市長** 新幹線ができていく様や変わりゆくまちを見て、意識を向けてもらえるように、積極的に行っていきたい。

### 企業誘致プロジェクト

**山口** 整備の進捗、企業誘致の状況は。

**市長** 2020年2月



▲人口増に期待！企業誘致ビル予定地

頃までに整備完了の計画で進めている。当初は3階建を想定していたが財政状況を踏まえ2階建にする予定である。1フロアはペット保険会社の入居が決まっており、80人程の雇用が見込まれている。早い段階で入居スペースを埋められるように企業誘致に全力を傾ける。

### 塩田中学校及び

### 塩田中央グラウンドの

### 熱中症対策について

**山口** 対策を急ぐべきと考えるが。

**教育長** 学校の構造上、熱気がこもりやすい状況であるため、できるだけ早くに換気扇をつけたり熱風を送出するなどの対応を考えている。

**市長** 塩田中央グラウンドについては、現時点での整備計画はないが様々な角度から対策を検討していきたい。

### その他の質問

■災害対応について

のと考える。

### 下宿築城地区交差点の改善の考えは

**森田** 変則的な交差点で市道側は狭く車の離合も困難である。今後、医療センターの移転、新幹線の開業も控え、交通量の増加も当然予想されることから、特に改善が必要と考えるのがいかか。

望まれるところで、県道下宿塩田線へ連絡する県道として整備できないか要望も行う。

**森田** 現在、市道側で問題の離合困難な状況の改善に市道側の一部拡幅やまた、停止線を移動することは考えられないか。

**建設・新幹線課長** 危険だと認識し、停止線の問題や市道側に離合場所等も検討する必要があるのではないかと現地を確認したところである。



▲更なる市民サービスの向上を

# 免許返納後の交通手段は

芦塚典子 議員

## 答 早急に解決していきたい



**芦塚** 免許自主返納に対する支援は。  
**福祉課長** 運転経歴証明書交付手数料の補助とタクシー券を配布している。

**市長** 高齢者の交通手段は今後どのようにするか。 買物弱者支援な

ど各地区にあった交通手段を考え検討していく。  
**芦塚** 高齢者から福祉バスの要望があるが。  
**企画政策課長** 市民の声を聴き、先進事例を見て早急に解決していく。

**老人クラブ加入に支援を**  
**芦塚** 加入促進の支援はできないか。  
**福祉課長** 高齢者福祉計画で老人クラブ加入促進を挙げているので、支援していきたい。

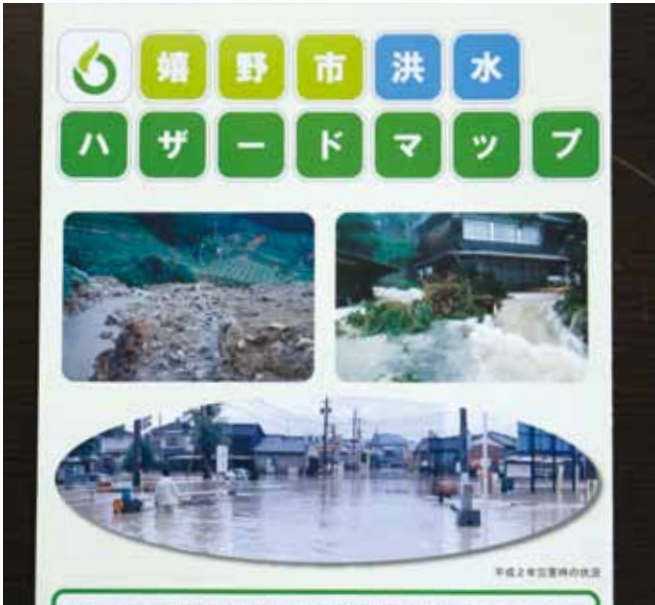
### 豪雨災害の被害状況は

**芦塚** 7月6日豪雨の被害状況は。  
**総務課長** 道路・農地・施設・林道等2百カ所に及ぶ被害が出ている。  
**芦塚** 財政措置は。  
**財政課長** 国からの補助金及び起債等で対応する。  
**芦塚** 今後の大規模災害に備える財源はあるか。  
**財政課長** 財政調整基金での対応で十分である。

### 子育てアプリの普及に



**川内** 7月の豪雨時、現在のハザードマップで対応ができたかを伺う。  
**市長** 現在のハザードマップは、災害時の対応について記載が少ないため災害発生前後の対応について厚みを持たせたものを新しく制作する。  
**川内** 配布されている



▲災害に生かされるハザードマップを

# 更新するハザードマップは

## 答 情報を多く盛り込む

川内聖一 議員

**川内** 7月の豪雨時、現在のハザードマップで対応ができたかを伺う。  
**市長** 現在のハザードマップは、災害時の対応について記載が少ないため災害発生前後の対応について厚みを持たせたものを新しく制作する。  
**川内** 配布されている

ハザードマップには、土砂災害地域の記載がない。更新されるマップの追加の内容を伺う。  
**総務課長** 今度、国・県が新たに指定した、土砂災害区域や洪水浸水想定区域などの危険箇所の内容も含め、防災に関する知識の情報を盛り込んだ

ハザードマップをつくりたい。  
**川内** 市内には、120以上のため池がある。全て危険とは限らないが、ため池についても記載してはどうか。  
**市長** ため池の存在を知ってもらうため情報として多く盛り込む。  
**川内** 規制ができない道路でドライバーに注意を促すように、カラー舗装を設置することはできないか。  
**建設・新幹線課長** 以前管理者側でカラー舗装を行った。地元と協議を行い検討したい。  
**川内** 市道の除草作業は管理者のほうで随時行われているが、かぶり木に関しては、所有者が伐採等の管理を行うのかわりはないか。  
**建設・新幹線課長** あくまで所有者で伐採することが基本である。

### 市内の道路の維持管理は

**川内** 市道の道路規制は、道路管理者側から警察に指示は出せるのか。  
**市長** 落石注意等の注意喚起はできるが、止まるとか速度規制は警察公安委員会の所管で道路管理者の権限はない。  
**川内** 県道等大きな道路の渋滞を避けるため枝道にあたる市道を利用する方も多い。時間帯によっては子どもたちの通学時と重なり危険を生じる



▲市民にやさしい交通手段を

**芦塚** 子育て支援、育児相談などの手助けができる子育てアプリの導入ができないか。

**市長** 赤ちゃんから子育て世代向けの行事等の周知など子育てアプリの活用を、来年のこどもセンターの開業に合わせて運用を開始したい。

**学童・生徒の学力は**

**芦塚** 全国学力テストの状況は。  
**教育長** 県平均と比較して、おおむね良好である。

**芦塚** どのような環境で効果的な結果が出たのか。

**教育長** 放課後学校塾での指導、スーパードクター、学力指定校、NIEの新聞活用など、職員並びに地域のマンパワーの部分がかなり大きい。

**芦塚** 中学校の数学、理科は不安材料では。

**教育長** 県の学力向上推進教員による数学の指導、理科においては実社会につながる理科教育を職員研修の中で進めている。

**学 校での熱中症対策は**

諸井義人 議員

**答** エアコンの適正使用と水分補給に配慮した

予定。部活動は気温35℃以上で基本的に禁止。定期的に給水と休息を設けた。

**諸井** 塩田中学校のエアコンは、設定温度まで下がらないと聞くが。

**市長** エアコン設置に予算をつけて投資をしている以上、効果があるものでなければいけないと思っている。

**諸井** デマンド監視システムは、何のために設置しているか。

**教育部長** 基本料金がデマンドの設定値をなるべく超えないようにしている。



**諸井** 学校行事や部活動での熱中症対策は。

**教育長** 夏休みのプールにおいては、水温と気温を足して65℃を超えた場合、使用禁止の対策をとった。また、学校行事においては、体育大会を1週間遅らせて実施する



▲改善が望まれる暑さ対策

た場合、部活動の数も考えなくてはいけないのである。

**教育長** 学校の部活動のあり方については校長専決である。塩田中学校の場合、3年前から20回

ぐらい職員会議や保護者会とも面談をされて決定されている。7月には保護者会全体会で結論を出されている。

**諸井** 嬉野市において自主防災組織はあるか。

**市長** 厳密な意味で定義できないが、各地域コミュニティにおいて自主防災組織として整いつつある。

**諸井** 各地区単位で5年に1回ぐらいは防災訓練を行うべきでは。

**市長** 今回の災害を契機として防災訓練等の活動を活性化していただきたい。

**中学校の部活動について**

**諸井** 生徒減少及び先生の数も減ることを考え

**自主防災組織について**



**山口** 嬉野温泉本通り

一方通行社会実験の地元説明会はどうだったか。

**市長** 賛否が分かれた。市民とともにつくるまち

づくりの一步にしたいで、真摯に耳を傾けて話を伺い改めて説明をさせてもらった。商店街の再生に向けて、これまで各関係団体と5回開催してきた。

**山口** 当事者である商店街への周知期間が短いのではないか。

**建設・新幹線課長** その点は反省している。ただ今年度内にこの社会実験の分析や方向性を検討するにはこの時期に決定せざるを得なかった。

**山口** 地元の理解を得てないのが一番問題になっていないのではないか。

駅から街中心部への自動運転交通システム構想の話があるが、これと関連しているのか。

**市長** 新幹線の開業を見据えた取り組みの一つである。地域活性化とまちづくりのための社会実験であり、幅広く誠意意見を聴いていきたい。

**嬉野の障がい者雇用は**

**山口** 国の障がい者雇用水増し問題が世間を騒

# 一方通行社会実験の目的は

山口忠孝 議員

**答** 新幹線の開業を見据えた地域活性化とまちづくりである

ただ、今回はあくまでも実験なので事後の検証が大事ではないか。

**市長** 観光嬉野のまちづくりのための社会実験であるが、地元を犠牲にしてまでとは考えていない。検証を踏まえ、市民とともにまちづくりを進めていきたい。

**山口** 新幹線嬉野温泉駅の開業に合わせて、駅から街中心部への自動運転交通システム構想の話があるが、これと関連しているのか。

**市長** 新幹線の開業を見据えた取り組みの一つである。地域活性化とまちづくりのための社会実験であり、幅広く誠意意見を聴いていきたい。

**障がい者雇用は**

**山口** 国の障がい者雇用水増し問題が世間を騒

がしているが、昨年の9月議会でこの問題を質問した。今年の状況は。

**総務課長** 昨年新たに1名を雇用して合計4名になり、雇用率2.15%で法定雇用率2.5%にはまだ達していない。

**山口** 正規雇用だけでなく、臨時・非常勤やパートタイムなど障がい者が働きやすい環境を整えるのが必要ではないのか。

**総務課長** 障がい者を対象にした臨時・非常勤の職種はないので雇用できていない。しかし、障がい者にやさしいまちづくりを考えれば、検討が必要である。

**市長** 一人でも多くの方に輝く場所を提供することが、市としても大事な役割だと考えている。

## 認知症対策の体制整備について

諸上栄大 議員

**答** 認知症サポーター養成と数を増やすことが急務



**諸上** 市内において認知症高齢者の数は何人か。

**福祉課長** 把握が非常に難しいが、要介護認定申請者の認知症高齢者日常生活自立度判定基準から、自立している方と、ほぼ自立している

方を除き推定すると、1,039人と推測できる。しかし、あくまでも目安にすぎない。

**諸上** サポーターとはどのようなものか。また登録者数は。

**福祉課長** 認知症の啓蒙活動また、認知症の方への声かけをメインの仕事としている。研修を通じ市に登録され、平成29年度末で登録者数は1,479人である。

**諸上** サポーターを養成し数を増やすのは良いが、どういう活動につながるのか、仕掛けづくりが必要と考えるがいかがか。

**市長** 養成講座を受けて終わりではないと思う。それを实地に生かしてこそ、そういった知識も本当に身につくと思う。

**諸上** サポーターの活用に大きな役割を担うのは、認知症地域支援推進員だと思うが、市内において推進員は誰が担当するか。

**福祉課長** 職員が1名任命を受けている。

**諸上** 認知症地域支援

▲どう活かす、一方通行化社会実験





# 防 災の警報は早めに出せ

辻 浩一 議員

## 答 情報伝達の段階で工夫する



**辻** 自主避難場所や指定避難場所より、安全確認ができていけば、自宅から近い自治公民館への避難が簡単で分かりやすい方法だと発言してきましたが、検証したのか。  
**総務企画部長** 個別に検証はしていない。行政囁

託員や区長と協議し、近隣の公民館等への避難というようなことで調整をしたい。

**辻** 避難場所を設定する上で、避難路が川沿いであるとか、渡らなければならぬとか、また崩落の危険がないかなどの再検証が必要ではないか。

**総務企画部長** 土砂災害の危険も含め検証していきたいと思う。

**辻** 災害の復旧・復興で大事な手順をどうとらえているのか。

**市長** 災害前の生活を取り戻すことが肝要であり、個人的部分では、物理的・肉体的・精神的なマイナスをなくすことと施設・整備においては、ハード面・ソフト面の復旧だと思う。行政でできることできないことを市民の皆様と平時の段階で合意形成をし、交通整理をしておく必要がある。

**辻** 災害の復旧・復興には瓦礫の撤去が重要だと思う。大草野防災広場の進捗状況はどうなっているのか。



▲避難経路の再点検をせよ！

**総務企画部長** 土地の所有者から同意を得て名義の変更ができたなら、次年度予算で整備を進めていく。

**辻** 今後、各校区ごとに防災広場の設定をしていく方針だったが、変更はないか。

**総務企画部長** 変更はない。農村公園等は狭いところなので、必要な場所を検討していく。

**辻** 仮設住宅設置場所は学校施設に設置する案件が多いが、後の学校

運営に支障をきたす。民有地で適地があれば協定を結ぶ必要があるのではないか。

**副市長** 確かに検討する時期に来ている。早急にやりたいと思う。

**辻** 軽微な防災対策に対し市独自で補助事業の創設はできないか。

**市長** 災害が多発する中で、毎回国・県の事業が採択にならないかもしれないので、事業の見直しの中で検討はできるのではないかと考えている。



▲サポーターをどういやすかが“カギ”

推進員が各地域に点在するサポーターと協働し認知症カフェの活動につながるような仕掛けづくりを考えてみてはどうか。  
**福祉課長** 推進員が中心となって、認知症カフェの推進を図りたい。現在は、1カ所だが、もう1カ所設置の話は伺っている。しかし、当然それだけでは足りないと思うので、数多く認知症カフェができる事を願う。

推進していきたい。  
**市長** 認知症カフェなどで、認知症そのものを知ってもらい、また認知症を抱える家族同士での情報交換をする中で、徘徊をなるべくしないようにする取り組みにつながっていただけるというふうになっている。これから先の時代を見据えた時に非常に重みを増す施策だと思っているので、力を入れていきたい。

# 農 地の5反要件を緩和すべきではないか

山下芳郎 議員

答 当面は現状でいきたい



**山下** 新規就農交付金制度を有効利用して就農につながる空き家とセットで活用できないか。

**農林課長** 農業大学校などの準備型の活用が

できればと思う。

**山下** 国は農地法の改正により5反要件を緩和した事で、新規就農を促進している自治体もあるが本市はどうするか。

**市長** 移住施策としてブームになってきているが、当面、現状を維持する。

**防災に情報の一元化を**

**山下** 7月の豪雨で対策本部と現地との情報交流にタブレット等のICTを活用した情報の一元化をすることが大事ではないか。

**市長** 災害情報を共有化することで画像、動画やインターネット会議システムを使った情報を今後の検討の課題にする。

**山下** 市指定でない自治公民館の避難場所での災害があった場合の責任の所在はどこか。

**総務企画部長** 自主的に開けた自治区にある。

**山下** 被害調査、人命の救助等にドローン



**梶原** 嬉野市における障がい者の法定雇用率は2・5%であるが、達成できているか。

**市長** 今年度の市の雇用率は2・15%で未達成だが、平成31年度に2名の採用を予定しており年度は達成できる。

**梶原** 今後、障がい者雇用については積極的に採用するのか。

**市長** 広く門戸を開き、



▲誰もが安心して働ける社会を！

# 障がい者法定雇用率の達成は

梶原睦也 議員

答 2・15%で未達成だ

障害の特性に応じた働き方も検討する。

**梶原** 障がい者法定雇用率の水増しはないか。

**総務課長** 毎年、障がい者手帳を確認している。水増しはない。

**梶原** 市内民間事業所の障がい者法定雇用率の達成状況は。

**梶原** 市内民間事業所の障がい者法定雇用率の達成状況は。

**うれの温泉観光課長** 職業安定所によれば、市内事業所は法定雇用率を上

回っているとのことだ。

**梶原** 障がい者雇用ということでいけば、農福連携が有効な手段ではないのか。

**市長** 農業と福祉の融合ということで、農水省・厚生労働省が共同で推進している事業でもあり、第2次総合計画の中にも明記している。農福連携については強力に推進していく。

**梶原** 障がい者優先調達法に対する取り組みは、どうなっているのか。

**福祉課長** 障がい者就労施設からの物品等の調達の推進を図る方針に沿って行っている。

**梶原** 平成24年4月から障がい者虐待防止法が施行されている。障がい者の雇用現場での虐待防止対策はどうか。

**市長** 合併以来「ひとにやさしいまちづくり」

を標榜してきた。障害についての教育、市民への周知をふくめ啓発活動が必要だ。手を取り、助けあって支え合う共生社会の実現に努力する。

**各種証明書のコンビニ交付について**

**梶原** 住民票や印鑑登録等の各種証明書をコンビニで交付できるようにできないか。

**市長** 利用者にとって全国5万3千店舗のコンビニ店で、朝6時半から夜11時までの交付が可能となり大変便利になると理解しているが、導入コストがネックとなる。現在、慎重に協議をしているところだ。

**その他の質問**

■県立高校新入試制度について

の活用はできないか。  
**市長** 支援物資の運搬、調査等検討する。

**チャオシルを民営化へ**

**山下** これからの運営はどうするか。

**市長** 周辺の轟の滝との連携と食と農の体験を満喫できるスペースとして活用と広場の店舗の構想を進めている。

**山下** 民間のノウハウを生かして売却は考えられないか。

**市長** 国の交付金も使っていて不適切では

ないかと考える。

**継続事業中止の理由は**

**山下** 九州フラフェステバル、リレーマラソンが突然中止となった理由は。

**市長** まちの中から遠く回遊性がなく投資効果も少ない。宿泊においてもトップシーズンに機会損失である。

**山下** 内容の見直しはできなかったのか。

**うれしの温泉観光課長** 温泉公園のイベントも含め、今後、新たな事業を検討してゆく。



▲若者の就農支援をするトレーニングファーム

**分** 庁方式での災害対策本部は問題があるのではないか  
 山口虎太郎 議員  
**答** 指揮命令系統の統一では独自の厳しさもある

ははかられた。

**山口** 市長は防災は命を守るものと言われたが塩田川が決壊した場合、塩田庁舎災害対策本部で市民・消防団員・職員の命を守るのか。

**市長** 今回の防災で得た教訓で合意形成ができるよう努力したい。

**山口** 災害の時代、百年の計として統合をやるべきではないか。

**市長** 災害は常襲の時代と認識する。コミュニケーションをはかり、あるべき姿を目指し、スピード感をもって結論を出していきたい。

**茶業振興について**

**山口** チャオシルの現在利用状況と取組みは。

**うれしの茶振興課長** 6月末から7月末との比較で入館者数28%、売店・喫茶店売上げ24%増しの状況である。取組みとしてチャオシルマーケットの開催、営業活動、行政視察を行っている。

**山口** 6月議会で質問した嬉野版協議会はどう

するのか。

**市長** 9月議会終了後生産者、茶商に意見を個人的なところで聞き、年内に全体で来年のお茶の販売戦略について協議を行ない、産地として大々的にPRしたい。

**医療センター跡地利用について**

**山口** 6月議会で答弁

されたサウンディング型市場調査と市民への対話についてどうするのか。  
**企画政策課長** 公有地の有効利用等については民間業者から広く意見を求め活用を探るものである。跡地活用は市民も感心が高いので、市報・インターネットで意見をいただく。



▲豪雨災害に大丈夫か？ 災害対策本部



# う れしの茶交流館（チャオシル）の 利活用は

宮崎一徳議員

答 イベント等を開催し、「にぎわいづくり」に努める

**宮崎** 7月以降の入館無料後の入館者数、体験料収入の状況はどうか。

**市長** 7月の入館無料後は、順調に客足が伸びて、前月対比3割増しの状況である。また、体験

料収入も前月比倍増となっている。

**宮崎** チャオシルマーケットを2回開催しているが、成果または来館者の反応はいかがか。

**市長** 6月1回、8月

1回開催しているが、合わせて1,390名が県内外からお越しいただいている。「お茶の淹れ方一つでこんなに味が違う」、「うれしの茶を満喫できる場所ができてよかった」との声をいただいている。

**宮崎** 近隣の茶生産地では、茶市が行われているが、本場の嬉野ではないか。

**市長** 茶市は私も共感を覚えるところである。茶商、生産者が一体となってまちを盛り上げていくなかで、茶市の開催は前向きで検討したい。しかしながら、持続可能なものにしていく必要がある。じっくり合意形成をして、ぜひ実現に向けて動きたい。

**市長** チャオシル周辺を食と農の体験ゾーンと位置づけ、お茶にまつわる食、喫茶、物販を含めて整備をはかっている。

**宮崎** 食事どころを併設した道の駅タイプはいかがか。

**市長** 直売所、団体客に対応する食事どころの整備は、前向きに動いているところである。

**宮崎** 「トイレ休憩どうぞ」の表示を34号線沿いにつくってはどうか。

**市長** お気軽に立ち寄っていただけるよう間口を下げることは大事だと思う。

**宮崎** チャオシルの収支計画は達成できるのか。

**市長** とにかく赤字額を圧縮していくことが大事。単年の結果も大事だが、4、5年の長期展望に立った運営計画も今後大事である。



▲駐車場を活かした にぎわいづくりを

# 母 子手帳交付日の 緩和ができないか

増田朝子 議員

答 努力していきたい



**健康づくり課長** スケジュールが組み込んでいるが、事前に電話をいただければ受けつける。

**増田** ホームページには掲載されているか。

**健康づくり課長** 月曜日が祝日の場合は電話をもらい、随時対応できることを掲載するようにしている。

**増田** 市長の考えはいかがか。

**市長** 慢性的な人手不足でもあり、人材の確保の面でも努力していきたい。

求職活動中の保育所 利用について

**増田** ハローワークでの確認証13回の根拠は何か。

**子育て支援課長** 一次預かり事業の利用要件にあわせている。

**増田** 他の市町を調べたか。

**子育て支援課長** 9市について調べた。

**増田** 国の制度ではあるが、内容については各自治体の裁量になってい

# 少 子化における子どもの文化・スポーツを守れ

宮崎良平 議員

## 答 しっかりとした組織体制が必要と考える



**宮崎** 部活動及び青少年文化・スポーツの現状と課題を伺う。

**教育長** 少子化の影響により様々な局面で影響が出ている。

**文化・スポーツ振興課長** 児童の数が減少し、活動を維持することが難しくな

っている。

**宮崎** 特に中学校の部活動が深刻であり、塩田中学校においては来年度より4つの部活動が実質廃部になる。存続していくための協議ははかられたか。

**教育長** 平成28年度から校内、保護者会、PTA評議委員会で協議されてきた。総合的に判断したと聞いている。

**宮崎** できるだけ存続できるような進めてほしいが、まず一番の要因が少子化による児童数の減少に伴うクラスの減少また、それによる教職員の減少という負の連鎖がある。社会の急激な変化も重なる中で、学校が部活動を賄うことに限界がきているのではないか。

**教育長** 国のガイドラインに沿い、県も部活は学校で賄ってほしいとあるが、与党の調査会の中で部活動の抜本的改革に関する緊急提言として運動部と地域スポーツの一体化という表現がある。教育的配慮という部分を十分に踏まえ、部活動も

含めた総合型文化・スポーツクラブの新たな組織の構築、運営ということも考えている。

**宮崎** 少子化に悩む多くの地方都市では、国が進める外部指導員の導入による小手先の対策で解決できるような問題ではない。しかしながら、子どもたちの無限大の可能性を引き出してあげられる環境を作ることが、私たちに課せられた使命であると考える。そのため



▲新時代のスポーツ組織を

の市のバックアップは考えられるか。

**市長** 国・県・市・各種競技団体・文化団体・地域・学校等の協力を得ながらバックアップできる組織体制を組む必要があると考えている。

**その他の質問**

- 西日本豪雨災害における単独補助について
- 災害時における対応について
- 国際交流事業について



▲母子手帳交付日の緩和を

る。緩和はできないか。

**市長** 求職活動を客観的に証明すべきであるが、検討した上で対応を決めたい。

**学童保育について**

**増田** 久間小学校、嬉野小学校に学童保育専用施設の建設予定だが、進捗状況はいかがか。

**市長** 設計監理業者が

決定し、実施計画を進めている。

**増田** 建設にあたり、現場の支援員の方の声を聞いてもらいたいのが、いかがか。

**市長** 現状の把握を早急にしたい。

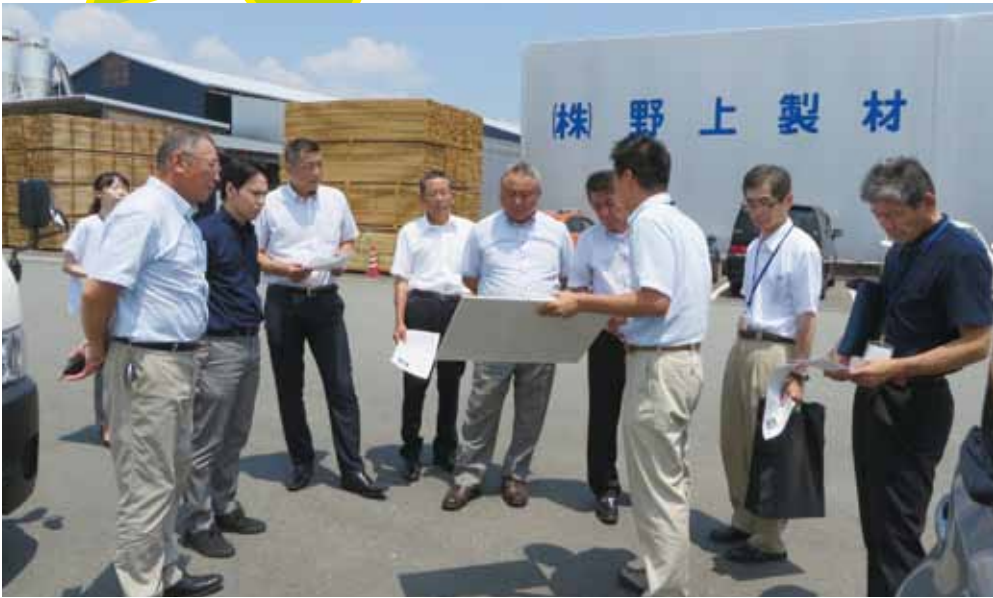
**その他の質問**

- 防災について
- 家族介護支援事業について

# 動く委員会

## 林業振興について 「森林・林業・木材の 再クラスター化」を目指す

産業建設常任委員会



▲林業振興の中核をなす木材コンビナートを視察

### 調査理由

2019年より森林経営管理法が施行されることになり、民間の森林管理において自治体を介して、森林経営を再構築する新たな事業に対応するため、林業振興の先進地である大分県日田市の取組みを調査した。

### 視察場所

大分県日田市役所  
農林振興部 林業振興課

### 委員会の意見

日田市は林業が主要

## 地域認知症ケアコミュニティ 推進事業について

文教福祉常任委員会

### 調査理由

少子高齢化に伴い  
様々な問題を抱える今

日、本市においても高齢化率は32%を超え地域の協力なしでは成り立たない。

そのような中、認知症対策が進んでいる「大牟田市地域認知症ケアコミュニティ推進

産業であり、低迷する日田林業の打開に向け、国の事業を活用し、着々と林業施策を展開されている。

平成27年3月に、日田（もり）ビジョンを策定し、「森林（もり）を守り育て・活かす・つながる」という三本柱を掲げ再クラスター化に取り組みられている。

当市においては、森林経営管理法の施行に伴い、今後、所有者不明の山林の確認等や広告、また森林経営の意向調査等が時間を要すると考えるので、調査の結果が出た地域から順次、市内森林関係の事業体等と協議を行い調査と並行しながらの調査を行うことが、早期の防災につながることを考える。

今後、定住促進や空き店舗対策事業に市内産材の活用も支給対象に加え、市内林業振興につなげるとともに、森林荒廃に歯止めをかけることで、防災へつなげることもなり、安心安全のまちづくりの一助になるのではないかと考える。

事業」について調査を行なった。

### 視察場所

福岡県大牟田市役所  
福祉部健康福祉推進室

### 委員会の意見

大牟田市では平成13年より大牟田市地域認知症ケアコミュニティ

推進事業が行なわれている。

中でも、「認知症コーデイネーター（人づくり）」・「もの忘れ予防・相談検診（介護予防教室（早期支援）」・「小学校の絵本教室・認知症サポーター養成講座（理解啓発）」・「認知症SOSネットワーク模



▲認知症対策先進地で熱心に質問する様子

擬訓練（地域づくり）」は長期間開催されてきたことにより、認知症に対する市民意識の向上とともに成果もあらわれてきた。

以前の委員会でも指摘されていた通り、「認知症SOSネットワーク模擬訓練」は一朝一夕でできるものではないが、認知症対策として必要な事業なので本市も参考とすべきである。

地域包括ケアシステムの充実と生活支援体制整備事業の活用による地域支えあいの仕組みづくりが急務であり「認知症コーデイネーター」の育成がカギとなってくる。

本市でもあらゆる事業において、より高度な専門知識を持った人材を育成することにより、さらなる市民福祉向上が可能になるのではないかと考える。

## 人権擁護委員 推薦に同意

人権擁護委員は現在、嬉野町に4名、塩田町に4名の方が就任され、協力をいただいています。今回、2名の方の推薦に意見を求められ全会一致で同意しました。

任期は平成31年1月1日から3年間の期間となります。

國政幸二郎氏 塩田町大字谷所

坂本兼吾氏 塩田町大字久間

## 議員とかたろう会を開催

平成30年第16回の「議員とかたろう会」を7月23日から26日までの4日間、市内8カ所の地区で開催しました。

今回は、市内の高齢者の方々の意見を反映するために老人会へご案内しました。今年猛暑の時期ではありましたが、多数の参加をいただきました。事前に設けたテーマを含め、ワークショップ形

式で、それぞれの地域の問題点や市政において老人会の方々から意見や要望を多岐にわたってお聞きし、厳しい意見も頂戴しながら実のある意見交換会となりました。

その時にいただいた意見や要望などの内容については、次回の議会であり及びホームページに掲載します。



▲ワークショップ形式での議員とかたろう会

嬉野小3年 富永ゆずさん(9歳)

## 民謡全国大会で入賞 夢は小学校の先生

今年8月11日に東京で開催された、民謡民舞少年少女全国大会で見事8位入賞を果たされた、富永ゆずさん。かわいらしい小学校三年生のゆずさんの素顔に迫ってみました。



問：全国大会に出場した経緯は？

母：まず、西九州大会で佐賀ダンス長持唄を歌い入賞し、全国大会に行きました。

問：西九州大会や、全国大会は緊張した？

ゆずさん：そがん、緊張せんやつた。

問：何歳頃から民謡は始めた？また、きつかけは？

ゆずさん：3歳ころかな？

母：きつかけというか、何というか、元々この子が喘息持ちで、声を出す事が喘息にも良いという助言を頂き、始めたのが最初ですね。今では、すっかり良くなりました。

問：民謡の面白いところは？

ゆずさん：いろいろな地域にある民謡が唄えることかなあ、50曲以上は歌える。それと、色々な所で大会があるので、その大会に参加するのも楽しい。

問：民謡の練習はどうしているの？

母：伊万里市在住の淵英紹先生の教えのもと、鹿島の教室に月2回通っています。

ゆずさん：家でも毎日5曲位、妹と一緒に練習をしています。

問：日頃、心がけている事や注意していることは？

ゆずさん：民謡を練習している時は、節回しなどに注意しています。普段の生活では、寒くなってきたので風邪をひかない様に注意しています。

問：好きな教科は、ずばり音楽？

ゆずさん：体育!!

問：他には？

ゆずさん：図工かなあ。絵を描くのが好き。



▲全国大会で堂々と唄うゆずさん

問：じゃあ、好きな音楽のジャンルは？

ゆずさん：民謡!! あと演歌。石川さゆりが大好き。

問：好きな食べ物は何？

ゆずさん：お寿司!!

他には、手羽先も好き。給食では、手づくりハンバーグが好きで、出てくるのを待っています!!

問：将来の夢は？

ゆずさん：小学校の先生になりたい。担任の先生のような。

問：最後に一言。

ゆずさん：いろんな音楽の種類がある中で、民謡の事をもっと知ってほしい! また、学校にも民謡クラブが出来ればいいなあと思う。嬉野にも嬉野茶摘み唄という民謡があるので、民謡大会をしてほしいと思う。

議：最初は緊張していた様子だったが、だんだんと言葉を交わす中に、垣間見る笑顔が非常に印象的であった。その中でも、民謡の話になると目を輝かせ話してくれたゆずさん。今後の活躍を大いに期待して、応援していきたいと思えます。

### 閉会中の委員会付託案件

付託委員会名	付託事件名
総務企画常任委員会	人口減少について
文教福祉常任委員会	農福連携について
産業建設常任委員会	水資源の環境保全について 新幹線駅周辺のまちづくりについて

### コラム

先日、古希同窓会を開催した。

久しぶりの再会に、皆が喜ぶ姿を見て、地元の世話人として嬉しい限りであった▼団塊の世代で、あの大きな大戦にも関わらずに生まれたことも幸いである▼先輩の意見を聞いていればうまくいった右肩上がりの高度成長の時代で豊かな生活を享受してきた▼このような時代は世界でも稀有であろう▼しかし、今は先が見えない混沌とした時代に入っている。多様な価値観を持つ若い世代の意見が通じる時代でもある▼議会も同じで、我々も幅広く市民の意見を聞き環境や時代の変化を読み取りながら対応していくことが大事であろうと思う。

(芳郎)

### 議会広報編集特別委員会

委員長	副委員長	委員
宮崎 良平	芦塚 典子	山下 芳郎
増田 朝子	辻 浩一	山口虎太郎
諸上 栄大		